

目指す社会（2050年に実現すること） 生きものを支え、生きものに支えられる幸せを共感できる社会

行動目標	施策	13の重点プロジェクトと150の施策より抜粋（★：重点プロジェクト）
行動目標1 私たちの暮らしのなかで 生物多様性を育みます	(1) 県民への普及啓発	★県民参加型の生きもの調査の実施
	(2) 教育・学習の機会を活用した啓発	★環境教育副読本の利用促進
	(3) 自然とのふれあいの推進	・自然公園等におけるふれあい活動の推進
	(4) 生物多様性に配慮したライフスタイルの浸透	・地産地消の推進 ・県民行動リスト普及促進
	(5) 生物多様性を活用した魅力ある県土づくり・地域づくり	★まちとむら交流促進 ・自然景観等を活かした観光の推進
行動目標2 生物多様性の 保全と再生を図ります	(1) 生態系ネットワークの形成	・水域（河川、水田、ため池等）を結ぶ生態系ネットワークの形成と保全の推進
	(2) 重要地域の保全	★生物多様性の保全上重要な地域の抽出と保全の促進 ★英彦山及び犬ヶ岳生態系回復事業
	(3) 野生生物の適切な保護と管理	★レッドデータブック改訂に向けた基盤整備 ★野生生物の保護に関する方針の策定 ★野生鳥獣の適正な管理と被害防止の推進 ★侵略的外来種防除マニュアルの作成
	(4) 地球温暖化対策との連携	・地球温暖化対策実行計画に基づいた総合的な施策の推進
	(5) 環境影響評価制度の適切な運用	
	(6) 生物多様性に配慮した公共工事の推進	・公共工事配慮指針に基づいた工事の推進 ・森里川海をつなぐ総合的な生物多様性保全の取組の実施
行動目標3 生物多様性の 持続可能な利用を図ります	(1) 生物多様性に配慮した農林水産業の推進	★森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策 ・ふくおかエコ農産物の取組の推進 ・資源管理計画に基づく水産資源管理の推進
	(2) 里地里山里海の適切な利用と管理	・農村が有する多面的機能の発揮に向けた農地・水路等の保全活動の推進 ・海岸漂着ごみ対策の推進
行動目標4 生物多様性を支える 基盤とネットワークを構築します	(1) 行政施策への浸透	★県の各種計画における生物多様性保全等の視点の導入
	(2) 多様な主体の参画促進	★県民一体となった生物多様性保全活動の推進
	(3) 連携促進によるネットワーク化	・NPOや企業等との協働促進
	(4) 人材育成と活用	★生物多様性アドバイザー制度の利用促進
	(5) 調査研究の推進	・生物多様性地理情報システムの充実にに向けた情報収集の促進

100年後の将来像	市民が多様な生き物とその生息地である自然環境の保全・再生・育成に取り組み、百年後も豊かな自然と共生し、 その恵みに支えられ、命をつなぐ未来都市「ふくおか」
-----------	--

基本的方向	方向	主な施策
基本的方向 1 生物多様性やその恵みに関する認識の社会への浸透	方向① 市民が生物多様性を理解し、その保全の重要性を認識し、行動できるよう生物多様性を広く社会に浸透させます	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の重要性の理解を促進します ・生物多様性に関する教育・学習を推進します ・生物多様性の調査研究を推進します
	方向② ふくおかの魅力が生物多様性の恵みに支えられていることを理解し、重要性を認識できる人や組織の形成を支援します	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に支えられる食の理解を促進します ・生物多様性に支えられる歴史・文化の理解を促進します
基本的方向 2 人と自然の環境を改めて考えながら生物多様性の保全	方向③ 海洋、島しょ、干潟、平野、丘陵、山地、河川など、ふくおかの多様な生物の生息環境を守るとともに、中心市街地や港湾地域においては、再生・復元を行い、山、川、平野、海のつながりを確保します	<ul style="list-style-type: none"> ・残された自然環境の保護・保全を推進します ・自然環境の再生・回復を推進します ・身近な生きものの保全を推進します ・自然景勝地や里地里山の景観など地域らしい風景の保全を推進します ・外来種による被害の未然防御を推進します ・ごみ対策や環境保全対策を推進します
	方向④ 動物、水生生物、植物などふくおかの貴重な生きものを守り、豊かな生物相の回復を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の貴重な生物の保全を推進します
基本的方向 3 生物多様性から享受される恵みの持続可能な利用	方向⑤ ふくおかの地理的特性を活かして生物多様性に配慮したまちづくりを推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の生態系のつながりの回復・保全を推進します ・快適な都市環境の維持・向上を推進します
	方向⑥ 安心して暮らせるふくおかの都市基盤をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・水害や土砂災害などを抑制する機能の維持・向上を推進します ・循環型の都市基盤の形成を推進します
	方向⑦ 生物多様性の恵みを活かしてふくおかの魅力を増進します	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の恵みを活かしたふくおかの魅力増進を促進します ・適正な資源需給を実現して市域内の依存度の向上を促進します
基本的方向 4 生物多様性に支えられる文化の継承と創造	方向⑧ 生物多様性に育まれてきたふくおか固有の文化を継承します	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化を支える産業の保全や人材の育成を推進します ・伝統文化や歴史資源等の保全、継承する人材の育成を推進します
	方向⑨ 生物多様性の恵みを活かして新たなふくおかの文化を創造します	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源や立地特性を活かした新たな食の創出の支援を促進します ・身近な自然環境を活かした体験・学習の場や景観資源の整備・保全を推進します ・身近な自然環境の体験・学習・景観資源としての積極的活用を推進します
基本的方向 5 より広域な視野をもちながら地域の生物多様性を支える多様な主体や地域との連携	方向⑩ ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域との協力関係を構築し、連携した取り組みを推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の多様な主体間の協力関係を構築し連携を促進します ・市域外の地域や国際的な協力関係を構築し連携を推進します ・都市基盤を支える資源供給地域の生物多様性保全への貢献を促進します
	方向⑪ ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域と連携していくための仕組みやルールを構築します	<ul style="list-style-type: none"> ・各主体の取組ルールや主体間の取り決めの整備を推進します ・生物多様性に関する情報を蓄積しその共有を推進します

基本理念	都市と自然との共生 ～豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち～	
------	------------------------------------	--

基本目標	方向性	基本施策
基本目標 1 自然とのふれあいを通じた 生物多様性の重要性の市民への浸透	方向性 1 自然環境にふれあう機会の創出	1 エコツアー（自然観察講座） 2 エコツーリズム、グリーンツーリズム等の促進 3 環境修学旅行・修学旅行誘致強化事業 4 ふれあい花壇・菜園事業 5 水環境館を活用した市民啓発 6 身近なふれあいの場に関する情報の整備・提供 7 その他の市民啓発事業
	方向性 2 農林水産業の活性化と 地産地消を通じたふれあいの推進	1 農地の保全 2 農業の振興 3 森林・林業の活性化 4 「里海づくり」による水産業の振興 5 水産環境の保全 6 地産地消の推進 7 農とのふれあいの場づくり 8 森林レクリエーションの場の整備 9 市民と交流する魅力ある水産業の創造
	方向性 3 里地里山の利用と活用	1 里地里山の持続的な利用 2 里山の新しいあり方の検討 3 自然環境学習としての里地里山の活用
基本目標 2 地球規模の視野を持って 行動できるような高い市民環境力の醸成	方向性 1 環境教育・学習の推進	1 環境教育事業の推進 2 学校教育における自然環境に視点をあてた教育の推進 3 洞海湾における環境修復体験事業 4 少年自然の家等における野外教育の推進 5 農業体験を通じた食農教育の推進
	方向性 2 自然環境に精通した人材の育成	1 自然環境サポーター育成事業 2 ほたるのふるさとづくり 3 水先案内人育成事業
基本目標 3 自然環境の適切な保全による、 森・里・川・海などがもつ 多様な機能の発揮	方向性 1 生態系ネットワークの形成	1 さまざまな主体による美化活動の一環としての自然環境の保全 2 森林の保全 3 河川環境の保全 4 自然海岸等の保全 5 モニタリングサイト 1000 の設置と保全 6 自然環境保全活動支援事業
	方向性 2 地域固有の生態系の保全と利用	1 曾根干潟の保全と利用 2 平尾台の保全と利用
	方向性 3 希少種の保全及び外来種の対策	1 希少動植物の保護・保全対策の検討 2 特定種に対する保護・保全対策 3 外来種に対する市民啓発の実施 4 外来種に関する体制づくり
基本目標 4 人と自然の関係を見直し、 自然から多くの恵みを感じできる 状態の維持	方向性 1 自然と調和した 都市基盤整備の促進	1 都市緑化の推進 2 ビオトープなどの自然共生型地域づくり 3 清流の復活と豊かな水環境の創造 4 「新・海辺マスタープラン」に基づく水際線の整備 5 地域の自然環境等に配慮した道路事業の推進 6 人と野鳥が共存する環境づくり 7 環境首都 100 万本植樹プロジェクト 8 響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創創成 9 八幡東田グリーングリッド整備事業 10 周辺の自然環境へ配慮した北九州空港移転跡地等の土地利用計画
	方向性 2 事業の実施に伴う環境配慮	1 環境影響評価制度に基づく環境配慮 2 北九州市環境配慮指針の活用推進 3 自然環境アドバイザー制度による支援 4 自然公園の適正利用 5 採石場、土取場跡地の緑化・修景
基本目標 5 自然環境調査を通じて情報を 収集、整理、蓄積し、 保全対策などでの活用	方向性 1 自然環境調査の実施と データベースの構築	1 実態把握の推進 2 GIS を用いた自然情報データベースの充実と維持管理 3 自然環境調査結果のデータベースへの集積
	方向性 2 市民参加による 自然環境情報の収集	1 市民参加による自然環境調査 2 特異な地形・地質、水環境の実態調査 3 調査を通じた専門家の育成

目指すくるめの姿	自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ
----------	----------------------

目標	施策（★：重点施策）	個別事業	
生きものの生息環境が守られたまちづくり	希少生物の保全（★）	・ 自然環境の保全と共生事業	
	市街地での生態系の保全（★）	・ 中心市街地拠点緑化事業、市民とつくる花と緑のまちづくり事業、生け垣設置奨励制度 ・ 花とみどりの景観整備事業	
	自然とのふれあいの場の創出	・ 都市基幹公園整備事業、都市景観形成促進事業、住区基幹公園整備事業 ・ みどりの里地域活性化事業	
	山林の保全、再生	・ 森林総合整備事業（荒廃森林再生事業）	
	生きものの移動などに配慮した施策の推進		
	外来種への対応	・ 自然環境の保全と共生事業	
	有害鳥獣への対応	・ 有害鳥獣広域防除対策事業	
	田園などの里地里山の保全・再生	・ 中山間地域等直接支払事業 ・ 自然環境の保全と共生事業	
自然と暮らしがつながる仕組みづくり	産業	生物多様性に配慮した農業・農村の振興（★）	・ 多面的機能支払交付金事業 ・ 環境保全型農業の推進
		生物多様性に配慮した事業活動の促進（★）	・ 自然環境の保全と共生事業 ・ 生活排水処理施設整備事業 ・ 自転車利用促進事業
	暮らし	生物多様性に配慮した暮らしの促進	・ 環境負荷低減促進事業、環境共生都市づくり協定 ・ 環境美化促進事業（くるめクリーンパートナー）
		生物多様性に配慮した消費行動の促進	・ 環境負荷低減促進事業（エコ活動推進事業）
		温暖化緩和策の促進	・ 新エネルギー政策推進事業 ・ 緑のカーテン推進事業 ・ 防犯灯設置推進事業
		循環型社会構築に向けた取り組み	・ ごみ減量・分別リサイクル事業 ・ ごみ問題啓発広報事業 ・ 生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業
	自然を守り、暮らしにつなげる人の育成	環境学習の機会や情報の提供（★）	・ 環境まなびのまちづくり事業、自然環境の保全と共生事業、ごみ問題啓発広報事業 ・ 環境負荷低減行動推進事業
		自然とのふれあいや環境保全活動を行う人材の育成（★）	・ 環境まなびのまちづくり事業
自然観察会の実施		・ 環境まなびのまちづくり事業 ・ 四季の森ふれあい教室事業	
市民団体の活動支援		・ 自然環境の保全と共生事業	

【福津市】生物多様性ふくっプラン

目標	行動方針	行動計画	取り組み	
目標 1 生き物や生き物が 住んでいる場所を守る	①福津市に生息・生育している 生き物を把握する	生き物に関するデータの収集	・生き物に関するデータの収集 ・生き物に関する計測的な調査体制の確立	
	②生き物の生息・生育している 自然を守る	里山環境の保全・再生	・森林の保全 ・二次林の再生 ・渡半島の山林の保全・活用 ・不法投棄対策の実施	・耕作放棄地の管理・活用 ・鳥獣被害防止対策の推進 ・里山環境の保全に関する取り組みの推進
		河川環境の保全・再生	・上西郷川の保全 ・河川水質の保全・再生	・河川の保全に関する取り組みの推進
		海環境の保全・再生	・希少野生生物の保全 ・漂着物対策の推進 ・多主体の協働による美化活動の推進	・藻上の保全・再生 ・海環境の保全に関する取り組みの推進
		干潟環境の保全・再生	・希少野生生物の保全 ・津屋崎干潟の保全 ・人の利用のためのしくみづくり	・干潟のモニタリング調査 ・干潟環境の保全に関する取り組みの推進
		ため池の保全・再生	・ため池の保全	・ため池の保全に関する取り組みの推進
		松林環境の保全・再生	・市民団体との協働による健全な松林の保全・再生	・松林の保全に関する取り組みの推進
		水田環境の保全・再生	・水田の保全	・耕作放棄地の管理・活用
	③生き物の生息・生育している 自然をつなぐ	エコロジカルネットワークの検討	・エコロジカルネットワークの検討 ・市街地の緑化の推進（再掲）	
	④外来生物から 地域の生態系を守る	外来生物の生息状況の把握	・生き物に関する計測的な調査体制の確立（再掲）	
外来生物の生息状況との関わりに関する普及・啓発		・外来生物に関する情報の提供	・ペットの適正な飼育の推進	
外来生物の侵入・拡散への対策		・生態系に悪影響を及ぼす外来生物への対策		
目標 2 生物多様性の恵みを 受け取り、活用する	①自然と親しむ場所をつくる	自然と親しむ場所の創出	・生物多様性に配慮した公園の管理 ・グリーンツーリズム。エコツーリズムの検討	
		自然と親しむ機会の創出	・市民団体との連携による自然体験プログラムの推進 ・自然と親しむ体験の支援	
	②生物多様性を活用した しくみを考える	地域資源の活用	・生物多様性に配慮した商品の推進 ・地域の資源を活用した持続的な利用に関する調査	
		環境アイコンの選定と活用	・環境アイコンの選定と周知 ・環境アイコンを活用した生物多様性保全のしくみの検討	
目標 3 生物多様性について 正しく理解する	①福津市の生物多様性の 情報を集める	生物多様性に関する 情報の収集及び把握	・市内の生態系サービスに関する情報の収集 ・生物多様性を理解することができる場所の情報の整理	
		②生物多様性について 知るしくみをつくる	生物多様性に関するイベントの開催	・生物多様性を正しく理解するためのイベントの開催
	生物多様性を理解するための情報の発信		・web サイトや SNS を活用した情報提供の促進 ・パンフレットなどの会美媒体による情報発信の検討	
	③生物多様性について 伝えるしくみをつくる		環境教育に対する支援	・市の環境を活用した環境学習の推進 ・市民団体、教育機関との連携による環境学習の推進
		環境教育の人材の育成	・環境教育を行う人材の育成	
目標 4 みんなで生物多様性を 守るために取り組む	①地域の取り組みを知る	地域の取り組みに関する情報提供	・地域の取り組みに関する情報収集 ・web サイトや SNS を活用した情報提供の促進（再掲）	
		地域の取り組みの拠点の創出	・地域の取り組みの拠点の検討 ・各郷づくり推進協議会との連携	
	②地域の取り組みを つなぐ	地域の取り組みの支援	・生物多様性に関する取り組みの支援 ・環境教育を行う人材の育成（再掲）	
		地域の取り組みをつなぐ機会の創出	・シンポジウムの開催 ・ふくつ環境トラストの構築	

目標とする姿	穏やかに響きあう いのちの地域
--------	-----------------

作戦	目標	目標を実現するために
作戦 1 まずは知る	目標 1 生きものの様子から季節の変化を感じ取り、その話題で会話が弾んでいます	1 豊岡市に住む生きものをリストアップし、「豊岡生きもの住民票」を作成します 2 豊岡らしい季節のことばを集めた「豊岡時候あいさつ集」を作成します 3 防災行政無線の放送で、これらの内容を積極的に活用します 4 季節の特徴的な生きものや植物の観察会を開催します
	目標 2 「生きもの博士」と呼ばれる人が増えています	1 地域の生きもの博士情報を集め、「豊岡生きもの博士名鑑」を作成します 2 博士を増やすための「生きもの検定」を実施します
	目標 3 地域の生きものの現状が科学的に整理され、その情報が共有されています	1 地域の生きもの情報を詰め込んだ「豊岡版 GIS」の構築します 2 その情報を、公共工事や自然再生の取組みに活用します
	目標 4 小学校区ごとに「生きもの地図」が備えられています	1 「生きもの地図」づくりをサポートするしくみをつくります 2 地図の作成、活用に関するマニュアルをつくります 3 いくつかの小学校区で、モデル的に「生きもの地図」の作成します
作戦 2 行動に移す	目標 1 行政も地域も、生きものに配慮した行動を心がけています	1 公共事業における「生きもの配慮の指針」をつくります 2 地域で行うクリーン作戦を「クリーン&グリーン作戦」への転換します 3 「歩いて暮らすまちづくり」に環境保全の要素を附加します 4 生物多様性保全のためにも「豊岡市景観計画」の推進します
	目標 2 豊岡で暮らすコウノトリたちが、安心して生活しています	1 コウノトリ野生復帰に関する市民との情報共有を強化します 2 見守り等を通じて、野外のコウノトリと地域の関わりを生み出します 3 コウノトリの生息地保全（保全・再生・創造）を進めます
	目標 3 市内各地に「春の小川」がイメージできる水辺があります	1 「春の小川」の基準を定めます 2 「春の小川」づくりをサポートするしくみをつくります 3 モデル的に「春の小川」づくりに取り組む地域を募り、実践します
	目標 4 市街地、住宅地でも多くの生きものに触れ合うことができます	1 市民は、プランターや庭で緑を生み出します 2 地域は、神社や応援を緑や生き物の拠点として管理します 3 行政は、各ポイントを「回廊」として機能させることを意識します
	目標 5 ラムサール条約登録エリアが広がりました	1 登録エリアにおける保全やワイズユース（賢明な利用）の取組みを充実します 2 登録エリアをモデルに取組みや意識を周辺に広げ、エリアを拡大します 3 学校教育でラムサール登録に触れ、誇りを醸成します
	目標 6 在来の生態系を乱す外来種の侵入・増加を防いでいます	1 外来種の監視と駆除を計画的に行います 2 「豊岡版ブラックリスト」を作成します 3 ブラックリストを用いた学習会を開催します 4 地域の共同作業に、外来種対策の要素を組み入れます
	目標 7 希少になった生きものや生態系に、個別の保護対策が進められています	1 希少生物の監視と保護を計画的に行います 2 「豊岡版レッドリスト」を作成します 3 レッドリストを用いた学習会を開催します 4 急激に拡大し、生態系を壊しつつある害獣への対策を強化します

【豊岡市】豊岡市生物多様性地域戦略

作戦	目標	目標を実現するために
作戦3 基盤を守る	目標1 農薬や化学肥料に頼らない農業が増え、田んぼの生態系が豊かになっています	1 農薬や化学肥料に頼らない農業が増え、田んぼの生態系が豊かになっています 2 田んぼや水路の生態系機能を高めます 3 田んぼづくりに関する意識改革に取り組みます
	目標2 市民や消費者と交流する生産者の顔が輝いています	1 生産者と市民との交流機会を増やします 2 生産者と全国の消費者との交流機会を増やします
	目標3 地元で採れたものを優先して食べる人が増えました	1 地元商品を取り扱う店舗や料理店の数を増やします 2 学校給食における地元産品利用割合を、国の基準（3割）に近づけます 3 時か消費を目的とした「我が家の畑」を応援します
	目標4 若い世代が第一次産業の大切さを理解しています	1 モデル校で、一年を通した農の営みをカリキュラムに採り入れます 2 就職希望学生に向けて、第一次産業の魅力をPRします 3 「豊岡農業スクール」などによる就農支援を行います
作戦4 つながる・ つなげる	目標1 自然の中で遊ぶ子どもの姿をよく見るようになりました	1 「子どもの野生復活大作戦」を充実します 2 地域の方が講師となって、地域で行う「自然遊び教室」を実施します
	目標2 親子で生きものや自然に触れ合う機会が増えています	1 PTAの学年行事に、生きもの調査や自然観察を採り入れます 2 生きものや自然に触れる親子イベントを数多く企画します
	目標3 地域の文化や伝統的な知恵・技が受け継がれています	1 地域の伝統行事を把握し、整理します 2 存続の危機にある祭事（自然や生きものへのまなざし）の復活に取り組みます
	目標4 交流施設では、楽しい声が弾んでいます	1 拠点施設において、生物多様性の要素を充実します 2 地域施設（地区公民館）に、生物多様性の要素を付加します
	目標5 日本中、世界中から訪れる人がいて、地元の人と交流しています	1 ターゲットを見据えた交流を進め、交流人口を増やします 2 豊岡を訪れる人と地域住民の交流機会を増やします
作戦5 効果を高める	目標1 行動のすべては、「見試し」の手法で実施されています	1 PDCAサイクルの手法を取り入れます 2 アダプティマネジメント（適応管理）の手法を取り入れます
	目標2 この攻略の作戦を支える拠点が機能しています	1 まずは市役所を中心にスタートし、拠点を定め、ネットワークを構築します

基本目標	未来につなごう「篠山の美しい自然と生きもの」
------	------------------------

基本方針	具体的な進め方
1) 生きものの生息環境の保全	(1) 山林 (①自然林 ②間伐と広葉樹林の山へ ③里山)
	(2) 河川・水辺環境
	(3) 農地・水路
	(4) 重要地域や希少種生息地域の選定と保全
2) 野生生物の保護・管理	(1) 野生鳥獣の適切な管理
	(2) 外来生物の駆除
3) 自然環境に配慮した農業の推進	
4) 環境教育・環境学習機会の充実	(1) 子どもたちへの豊かな自然の原体験の推進
	(2) 自然とのふれあい
	(3) 学校等への環境学習支援

【札幌市】生物多様性さっぽろビジョン

理念	北の生き物と人が輝くまち さっぽろ
目標	ア 豊かな生物多様性と共生する都市づくり イ 環境首都・札幌にふさわしい生物多様性に配慮したライフスタイルの実践 ウ 自然環境と一体となった文化や知恵、景観など、伝統資源の継承及び創造

施策の柱	施策の方向性	想定される取組	
施策の柱1「理解する」 生物多様性に対する理解を深める	1 自然とのふれあいの場の充実	・ 生き物調査など市民参加型活動プログラムの実施 ・ 市民の森などでの森林体験	・ 市民農園などでの農業体験 ・ 人が生き物に触れられる川づくり など
	2 環境教育・普及啓発	・ パンフレットやイベント等による普及啓発 ・ 学校教育	・ 自然観察などの体験型学習 ・ 在来種や外来種の飼育展示 など
	3 調査分析・情報共有	・ 博物館活動や大学などとの連携による市参加型モニタリング方法の開発・実践、情報の集積・発信 など	
	4 生物多様性の保全及び 持続可能な利用に関する技術の向上	・ 生物多様性に配慮した一次産業の推進 ・ 野生鳥獣とのトラブル回避策の検討	・ 外来種対策の検討 など
施策の柱2「協働する」 生物多様性の保全に皆で取り組む	1 活動主体の育成、支援	・ 市民活動プログラムの開発・実践 ・ 市民活動支援策の充実	・ 事業者による生物多様性配慮行動やCSR活動の促進 ・ NPOなどの団体からの公募による街中における保全活動事業の実施 など
	2 連携の仕組みづくり	・ 活動拠点ネットワークの構築	・ まちづくりへの住民参加の促進 など
施策の柱3「継承する」 生物多様性を守り育て、 将来に伝えていく	1 生息・生育環境の保全と拡大	・ 水と緑のネットワークづくり ・ 特別緑地保全地区・都心の緑の充実 ・ 多自然川づくり	・ 農地の保全 ・ 天然記念物の保全 ・ 環境アセスメントの運用 など
	2 野生生物をめぐるトラブルの軽減	・ 野生生物との付き合い方の普及啓発 ・ 野生動物出没時の対応 ・ 外来種情報の普及啓発	・ 特定外来生物の防除 ・ ペットの適正飼育 など
	3 環境負荷の低減	・ 河川水質の保全 ・ 環境配慮型農業 ・ 地球温暖化対策	・ 環境マネジメントシステムによる取組 ・ 集約型都市構造の構築 など
	4 歴史的文化的資産の継承	・ 伝統文化や景観の継承 ・ 伝統作物の保存	・ シティプロモートの推進 など
施策の柱4「活用する」 生物多様性の持続可能な 利用を進める	1 自然を活かすライフスタイルの推進	・ 生き物調査など市民参加型活動プログラムの実施 ・ 身近にできるエコ行動を実践する小中学生向け「エコライフレポート」	・ 魅力あふれる地域づくりへの活用 ・ 自然エネルギーの普及 など
	2 環境に配慮した消費行動の推進	・ 地産地消 ・ 道産木材の活用 ・ FSC・MSC・フェアトレード商品などのグリーン購入の促進 など	
	3 持続可能な社会経済活動への活用	・ 新製品・新技術開発への支援など環境産業の振興 ・ 道内の伝統品種を含む農水畜産資源を活用した食産業の振興	・ 豊かな自然と多様な生物資源を観光資源として活用 など